

新感覚クラフト産業活性化支援事業

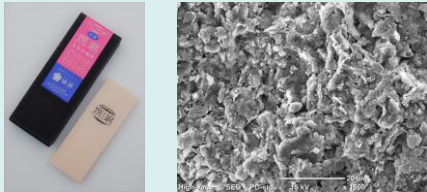
－ 新感覚クラフト産業活性化支援事業（R5年度）－

新市場進出のための商品開発や高付加価値化に向けたデザイナー等との連携による商品開発に取り組み、展示会への出展も行いました。

1. ブランドストーリーの構築

- ① 未利用陶石を活用した砥石の研究開発（産学官共同研究）
【(有)伊予鉱業所・愛媛大学】

砥部焼坏土に、赤砥土や研磨剤を配合し、粒度や焼成条件を検討した結果、研磨力があり、品質の安定性に優れる包丁用の焼成砥石が開発できました。



- ② ガチャ用品の開発研究
【梅乃瀬窯】

お土産として活用できる「砥部焼マグネット」を企画・開発し、令和5年11月末から県内外観光地にて販売を開始しました。



- ③ 経年劣化した風合いがある粘土瓦製品の開発
【オチ新瓦産業(株)・(株)菊銀製瓦】

瓦のいぶし条件を工夫することで、多色化を図り、経年劣化した風合いの粘土瓦を開発できました。



2. 高付加価値化に向けた商品開発支援

- ① 商品開発支援
【大西陶芸・和将窯】

デザイナーと連携し、大西陶芸はグラデーションを生かした食器、和将窯は新たに調合したマットな釉薬を使用したコーヒーカップとソーサーの開発を行いました。



大西陶芸

和将窯

- ② 販路開拓支援
【一夢工房・雲石窯・遠藤窯・大西陶芸・きよし窯・すこし屋・千山窯・森陶房・和将窯】

広く全国に砥部焼を届けると同時に、将来的な海外への進出も視野に需要の拡大を図るため、①で開発した窯元と東京のバイヤーに商品をセレクトしていただいた窯元が、第97回東京インターナショナル・ギフトショー春2024に出展しました。



本事業で開発した製品の一部は、既に販売されており、伝統的な産業の新たな需要を掘り起こす製品として期待できます。また、地域の伝統産業の更なる振興を図り、地域経済の活性化が期待できます。

本事業は、令和5年度新感覚クラフト産業活性化支援事業により実施しました。